

令和6年度木更津市郷土博物館金のすず協議会 第2回定例会  
議事録

- 1 開催日時 令和7年1月17日(金)午後2時00分～3時30分
- 2 開催場所 木更津市郷土博物館金のすず
- 3 出席委員 高崎芳美・立野 晃・伊東昭雄・中西綾子
- 4 出席職員 小高幸男教育部長・水越 学教育部次長兼文化課長  
佐藤千明館長・松本明子副館長・依田あゆ美主査・寺原 進主任主事
- 5 傍聴人 0人
- 6 議 事 議案1 役員の選出  
報告1 令和6年度事業報告について  
報告2 令和7年度事業計画について  
その他

事務局 松本副館長： ただいまより令和6年度木更津市郷土博物館金のすず協議会第2回定例会を開催いたします。本日は委員6人のところ4人のご出席をいただいております。「木更津市郷土博物館金のすず協議会運営規則第8条第1項」により会議は成立しております。また、「木更津市審議会等の会議公開に関する条例第3条」に基づき、本会議は一般公開となっておりますが傍聴人は0人です。  
それでは会議開催にあたり、小高教育部長よりご挨拶を申し上げます。

小高部長： （挨拶）

松本副館長： それでは、これよりお手元の会議次第により協議会を進行いたします。

（本会議が、委嘱後第1回目の会議のため、事務局提案として小高部長が仮議長を務め、委員の互選により正副委員長選出する。）

仮議長： それでは、委員長は立野委員、副委員長は山田委員に決定させていただきます。よろしく申し上げます。以上をもちまして、議長職をおろさせていただきます。

（立野委員長、挨拶の後議長として議事進行を務める。）

立野議長： それでは、議長として議事を進めさせていただきます。

報告（1）の「令和6年度事業報告と下半期事業計画について」ですが、まず令和6年度事業報告から事務局に説明を求めます。

松本副館長： まず、令和6年度の概要について私からご報告いたします。

年度当初に計画した事業については、概ね予定どおり進捗しております。

展示活動につきましては、常設展の無料化により、休日に家族連れの入館が見られる等入館者が増加しております。夏にはミニ企画展として「変化朝顔」を栽培し当館の正面玄関前に並べて楽しんでいただく企画を開催いたしました。また、旧安西家住宅を会場に、初めての試みとして1月11日から2月9日の間、「街の風景～懐かしの木更津へようこそ～」と題し、木更津駅周辺の写真パネル展を開催しております。また、春の企画展として3月から5月にかけて県内を題材にした浮世絵の展示を予定しております。

教育普及事業につきましては、「きさらづ文化財ガイドボランティアの会」との連携により、昔のくらし体験学習や旧安西家住宅の展示解説等を実施しております。ガイドボランティアの常駐は午前のみでしたが、令和6年度からは、午後に職員が常駐するようにいたしましたので、展示解説や環境整備の充実が図られ、観覧者が増え年間を通して催事に取り組むための下地ができました。また、生涯学習課市民カレッジと連携し、市全体を包括した講座開催に工夫いたしました。さらに、他の博物館、公民館への資料の貸出、特別利用の対応および講師派遣、博物館実習生の受入を実施いたしました。

施設の環境整備につきましては、本館エレベータが令和5年12月末で保守点検期間が満了となり、改修工事のため令和6年12月から令和7年2月に展示室を一部休室にして工事中です。

次に、令和6年度事業報告4月から12月までの詳細について、担当職員から報告いたします。まず展示からご報告いたします。

依田主査： 企画展としましては、夏のミニ企画展として変化朝顔を玄関前に並べました。併せて展示室に朝顔の描かれている浮世絵を展示いたしました。

常設展につきましては、浮世絵や木更津高等女学校関連資料の定期的な入れ替えを行っております。また、出張展示といたしまして、11月3日に開催いたしました本市のオーガニックシティフェスティバルで新指定文化財の紹介などを行いました。また、本館と旧安西家住宅のパンフレットの増刷を行いました。展示につきましては以上でございます。

寺原主任主事： 次に教育普及事業について報告いたします。

学校等との連携に関しましては、博物館実習を8月後半の6日間で実施し、実習課題として勾玉作り教室の運営、展示紹介動画の制作に取り組んでいただきました。動画は博物館職員が再編集し、現在、本館エントランスにてデジタルサイネージで発信しております。

(動画視聴)

次に職場体験を9月に実施いたしました。市内の中学2年生2人を受け入れ、浮世絵および木更津高等女学校関連資料の展示替え等に取り組んでいただきました。

講師派遣・出前授業におきましては、市内の公民館及び学校からの依頼を受けて実施いたしました。公民館で講座を、高等学校にて講演を行った他、小学校で社会科の授業を行いました。

学校等の受入におきましては、25の団体を受け入れ、展示解説を行いました。このうち、小学3年生については、旧安西家住宅にて昔の暮らし体験学習としてカマド・石臼・囲炉裏・行灯の体験を、ガイドボランティアの協力の下、提供しております。

つづきまして、主催事業等に関しましては、きさらづ歳時記と題しまして、旧安西家住宅に鯉のぼり、七夕飾り、ススキ等展示して、端午の節句、七夕、十五夜を実施いたしました。

夏休み体験講座におきましては、博物館実習の課題も兼ねて、8月に勾玉作り教室を開催いたしました。

郷土文化伝承体験講座におきましては、12月に正月飾り作り教室を開催いたしました。

古文書講座におきましては、7～12月に毎月1回外部講師をお招きし、館収蔵史料等を用いて、入門・初級・中級編各2回、計6回を開催いたしました。

依田主査： つづいて主催事業等の地域学講座『木更津風土記』につきましては、「平安時代とはどのような時代か」と題し、講師に大谷大学教授の東館紹見氏をお招きし、ご講演をいただきました。

寺原主任主事： つづきまして、資料貸出等につきましては、特別利用として博物館資料の熟覧等、21件の利用がございました。また国立歴史民俗博物館等に千葉県金鈴塚古墳出土品等の資料貸出を行っております。なお、資料借用といたしましては、企画展「古墳時代の謎の木の道具たち」にて、本市の文化課から考古資料を借用しております。

依田主査： つづきまして旧安西家住宅利用状況といたしましては、4月、6月、11月各1回ずつございました。内容については、テレビのロケ地としての撮影やヨガの実施、俳句会を目的として使われております。

つづきまして、友の会でございます。11月17日にサークル展を開催し、日頃の活動を紹介するため、土器作りサークル、はたおりサークル、木綿の会が発表いたしました。また、会報28号を発行いたしました。

寺原主任主事： つづきまして、きさらづ文化財ガイドボランティアの会につきましては、旧安西家住宅にて来館者向けのガイドの実施及び小学3年生向けの昔のくらし体験学習への協力を業務委託しております。なお、ガイドボランティア養成講座を開催しております。

依田主査： つづきまして、ミュージアムサポーターとして現在5名の方に活動していただいております。現在旧安西家住宅で展示をしている写真パネルのより詳細な台帳作成をするために協力をしていただいたほか、講座開催時における受付事務、友の会サークル展やオーガニックシティフェスティバルをご覧いただく等の形で随時博物館に協力をいただきました。

松本副館長： 次に入館者の推移についてご報告いたします。令和6年4月から12月までの観覧者数と令和5年度同時期の観覧者数を比較いたしますと、約2,000人の増となっております。その要因として常設展示の観覧料が無料になり、入場しやすくなったことによります。

依田主査： 次に、管理について報告いたします。

まず、収蔵資料管理として、エレベータの工事に伴い2階倉庫棚を整理いたしました。次に、寄贈資料の受入につきましては、古典書籍、写真、曼荼羅等6件の受入をしております。

また、寄託資料の受入としましては、更新と代表者の変更手続きを2件実施いたしました。

環境管理につきましては、旧安西家住宅周辺の樹木の伐採・剪定、下草の刈込を行っております。

建物管理としましては、エレベータ改修工事を実施しております。また、新収蔵庫天井雨漏りによる屋根の修理がありました。また、8月、博物館実習生と一緒に捕虫トラップを用いて博物館の環境調査を実施しました。さらに自衛消防訓練を実施し、全職員と警備員、ガイドボランティアで設備の確認を行いました。

立野議長： ただいま、事務局からわかりやすく説明をいただきましたけれども、皆様からご質問やご意見等がございましたらお願いいたします。

高崎委員： 高校生・大学生は、100人位増えていますね。これは、無料化になった影響でしょうか。

松本副館長： 令和5年度から高校生・大学生の観覧料の無料化が始まりました。周知されてきたのかと思われます。

高崎委員： 高校生がもっと多く博物館に来てもらえると将来的に大人になってから家族を連れてきたりする可能性があります。

立野議長： 無料とわかるようなものがあると、(午後入館してもらえるなど) だいぶ違ってくるのかもしれませんが。

入館者のことが出ましたが、令和5年度と比べると令和6年度の利用者総数は増えていて、観覧者が増えていることが増加につながっていると思います。コロナ以前と比べるとこの数値はどうなっていますか。わかればお願いします。

松本副館長： コロナ期に休館していたこともあり、一番少ない時で1,000人台でした。翌年が2,000人台、次に4,000人台という数値で推移し、令和4年度につきましては8,000人台、令和5年度は10,000人台というところで推移しておりますので、徐々に持ち直してきているのではないかと思います。

立野議長： 数字がこのあと伸びていく余地があると理解しました。他にいかがでしょうか。

高崎委員： 写真パネル展ですが、先だって木更津市立図書館でも絵葉書を展示していましたが、それとほぼ同じですか。

松本副館長： 内容は異なります。図書館では、主に明治・大正・昭和初期頃の絵葉書を展示していましたが、当館では千葉県立上総博物館から受け継いだ写真パネルを展示しています。

立野議長： では次に、令和6年度下半期事業計画1月から3月について、事務局に説明を求めます。

寺原主任主事： 令和6年度下半期事業計画1月から3月につきまして、ご説明申し上げます。1月11日(土)から2月9日(日)まで、旧安西家住宅にて写真パネル展「街の風景～懐かしの木更津へようこそ～」を開催し、木更津駅周辺の様子を風景写真パネルで紹介しております。写真パネルと同じ場所の現在の写真も交えながら撮影場所の位置図とともに展示しております。

続きまして、地域学講座『木更津風土記』では、江戸時代について、木更津市域にも触れながら、「江戸」の書籍の流通と貸本問屋に関する外部講師による講演会を開催いたします。

続きまして、きさらづ歳時記は旧安西家住宅にて、2月22日(土)から3月2日(日)まで、「旧安西家住宅のひな祭り」と題してひな飾りを行う予定でございます。

依田主査： 続きまして、郷土文化伝承体験講座「西上総の味噌作り教室」につきましては、2月16日（日）旧安西家住宅で実施いたします。例年、ガイドボランティアに講師をお願いしているところです。

また、太田山の桜の開花を予想してみよう（講演・体験）ですが、講師として公益財団法人かずさDNA研究所植物ゲノム・遺伝学研究室長の白澤健太氏をお迎えする予定です。DNA研究の視点から鎌足桜についてと太田山公園の開花予想についてご講演をいただきます。3月16日（日）に、郷土博物館金のすずを会場に開催いたします。

続いて、企画展「浮世絵にみる上総・安房」についてですが、春の企画展として令和7年3月22日（土）から5月6日（火・振休）までの開催を予定しております。会場は、当館の第5展示室を使用いたします。観覧料は無料でございます。開催趣旨といたしましては、春休みからゴールデンウィークの太田山公園の桜の開花時期に入館者が多いので、この時期に企画しています。当館が所蔵する上総・安房地域の浮世絵を展示・公開することで、木更津市周辺の魅力について再認識し、郷土文化への理解と愛着を深める機会にしたいと考えております。主な展示物といたしましては、初代広重の作品等を展示する予定で準備しております。

立野議長： 事務局からの説明がございました。第4四半期中でも非常に沢山の事を計画されて実際にはすでに実施されつつあるという状況ですが、ご質問ご意見等ありましたらお願いします。

高崎委員： 浮世絵の点数はどのくらい予定されていますか。開催要項案には8点挙げられています。

依田主査： もう少し増える予定です。

立野議長： まだ時間はありますので、いろいろな情報を積極的に仕入れてなるべくいい内容のものをお願いいたします。他にいかがでしょうか。

立野議長： では次に、報告（2）の「令和7年度事業計画について」事務局に説明を求めます。

松本副館長： 令和7年度事業について主なものについてご説明いたします。まず、特別展企画展でございますが、特別展は1回、企画展は2回を予定しております。

次に講座の依頼については、生涯学習課が担当しております出前講座と連携し、ここに複数テーマを提示して選択していただくような形で実施を考えてお

ります。

次に旧安西家住宅の活用です。「きさらづ歳時記」のほかに写真パネル展等も取り入れながら、旧安西家住宅をなるべく活用して観覧者を増やしていきたいと考えております。

次に、博物館グッズの制作を検討しております。

また、木更津出身の俳優中尾彬氏に寄贈いただいた絵画の展示を検討しております。

寺原主任主事： 続いて令和7年度の特別展につきましては、木更津とその周辺地域について弥生時代を中心に紹介する予定でございます。10月下旬から12月上旬まで第4・5展示室を会場に開催を予定しております。なお、開催期間中には、外部講師による特別展に関連した内容の講演会を開催する予定でございます。

立野議長： 事務局からの説明がありましたが、ご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

(ご意見)

- ・学校へ団体見学の周知をすると、さらに多くの学校の団体見学が見込まれる。
- ・学生等、徒歩で来館する方にもわかりやすいよう、バス停をはじめ看板等の表示があるとよいと思う。
- ・博物館には多くの重要な文化財があるので、大きな力を秘めている。見せ方・宣伝・PRを工夫するとよいと思う。
- ・木更津の博物館は、木更津の自前のものだけで原始・古代から現代まで全部見せることができる。近隣の小学生・中学生・高校生に、これはという方法で知らしめられたらと思う。
- ・ハリパネの予算を確保しておけば、最低限のことに対処できる、
- ・ロケ地利用があるようだが、SNS等で周知するとロケ地を聖地としてめぐる推し活をする人が周辺の飲食店にも寄ってくれるので、経済が潤い良い循環が生まれる。

(質問に対する回答)

- ・使用料が入った場合は、博物館に入るのか。  
→特定財源として博物館の予算になる。
- ・旧安西家住宅をもっと貸し出したらどうか。  
→旧安西家住宅を貸す時は、その団体等が占有することになるため、観覧者が入場できないことになる。貸し出すバランスが必要になると考えている。

立野議長： 他に何かございますか。無いようですので、本日の議事は終了といたします。